

教育長だより No. 1

2023年4月1日

『私が学んだこと』 ～ 年度初めにあって、若手の先生の作文から ～

新年度が始まりました。今日から入園・入学式まで学校園では一番あわただしい時期だと思えます。どうぞうまく乗り切って、新しい子どもたちとの『素晴らしい出会い』を迎えてくださるようお願いします。

さて、この「コロナ禍」も4年目になりました。3年前の3月からは、ほぼ全国の学校園が3か月にわたる休業を余儀なくされました。まさかそんな重大な事態が続くとは誰も考えはしなかったと思えます。そして、「コロナ禍」は子どもたちの勉強や生活に大きな影響を与えました。昨年の4月は、そんな中で子どもたちの成長について、「どっこい、たくましく成長してる！」という中学生の作文を紹介しました。

今年は、若手の先生（27歳 女性）のたのもしい作文を紹介します。

私が学んだこと

この一年間で『子どもを知る』『思いを受け止め寄り添う』ということ学んだ。教師が子ども一人ひとりのことを知り、理解できないとかかわり方がわからず一人ひとりに寄り添うことができないと痛感した。私は最初子どもを信じることができなかつた。しかし、相手を知ろうとかかわり続けることで子どもの本当の気持ちに気づき、子どもを信じることができた。そして、私は子どもたちが求めていることがわかり、寄り添う行動ができるようになった。すると、私を拒絶していた子が少しずつ心を開いてくれるようになった。あまり自分のことを話そうとしなかつた子が、悩みを少しずつ話してくれるようになった。寄り添い続けることは、子どもの見えない部分に目を向け正しく知り、本人の思いに耳を傾けることが一番大事なことであり、決しておろそかにしてはいけないと感じた。私自身が見本となるようなかわり方を示し、いろいろなかわり方を子どもたちに知ってほしい。そして、『子ども一人ひとりに寄りそってじっくり話を聞く』ことをこれからも大切にしていき、個性を認め合える学級づくりにいかしていきたい。

本市では『人権のまち：野洲』を合言葉に人権教育を土台に掲げて学校園の教育を進めてきました。しかし、ここ2年間で二度にわたる小学校教員による「いじめにつながる事案」が起きました。絶対にあってはならない事態です。そこで、今年度は人権教育を進める側の教職員に、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障する人権教育を再構築することが求められています。

また、本市は人権教育の上に子どもたちの個々のニーズに合わせた特別支援教育にも力

を入れてきました。多様な背景や重い課題を背負わされている子どもへのかかわり、あるいはさまざまな考えをもつ保護者との連携や「寄り添い」をすべく、さまざまな支援策や相談体制を作ってきました。しかし、この度の事案は、決して個人の問題ではなく、学校園の組織的な弱さの露呈であると考えています。

これらのことから、個々の教職員だけでなく、学校園、市教育委員会も含めた組織としての教育改革・再構築が必要であると考えています。そして、その上で次の3つの視点での教育を進めていきたいと考えています。

みなさん、1年間、一緒にがんばりましょう！！

野洲市の教育の3つの視点（教育方針）

「新型コロナウイルス」との共存が模索されています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や台湾をめぐる米中の対立によって世界は分断され、エネルギーや食糧の安全保障が脅かされています。将来の野洲を担う子どもたちがこうした激動する国際情勢の変化にも目を向けて、たくましく生き抜いていくためには、教育が果たす役割は極めて重要だと言えます。そして、それは学校園の教職員だけでなく、野洲市の教育にかかわるすべての者の使命であると考えます。

令和5年度、本市では次の3つの視点で教育を進めて行きます。

まず1点目は、学校教育を中心として、子どもの「生き抜く力」を育てます。

今日、子どもたちを取り巻く社会は目まぐるしく変化し、価値観の多様化が一層進んでいます。そんな中でたくましくしなやかに人生を切り開いていくためには、学力はもとより高い自尊感情や豊かな情操、それを支える健康な体が求められます。本市では、こうした資質や能力を学校園が協働して育てていきます。

2点目は、学校と家庭、地域が一体となって「子どもの育ち」を支援します。

「学校の子は地域の子」です。子どもたちは、学校園だけでなく、家庭や地域の皆さんに支えられて成長していきます。そこで、各学校のコミュニティ・スクール化を進め、学校を核として家庭や地域が相互にパートナーとして子どもの成長を支えていきます。

3点目は、「生涯学習のまちづくり」を進めます。

だれでもどこでも学び合い、生涯にわたって成長し、心豊かになれる社会をめざします。また、その成果を人とのつながりや地域の活性化にも生かして、教育の面から野洲市のめざす「住んでよかった」「住んでみたい」「住み続けたい」まちづくりにつなげていきます。

※ 『教育長だより』は、野洲市役所のホームページに載せています。「野洲

市教育委員会」を開いていただくと、そこにありますので、ご覧ください。